

至 誠



小美玉市立小川南中学校 学校だより
NO. 33 令和2年 1 月14日 発行

教育目標 これからの時代を切り拓く たくましい生徒の育成

キーワード 至 誠 ～ 精一杯 心をこめて ていねいに ～

携帯電話・インターネット 利用に関する実態調査より

◇インターネットに接続できる機器を持っていますか？

	1 年	2 年	3 年
はい	8 4 人 9 7 %	7 6 人 9 3 %	6 9 人 9 5 %
いいえ	3 人 3 %	6 人 7 %	4 人 5 %

◇持っている接続機器は何ですか？（複数回答可）

	1 年	2 年	3 年
携帯・ スマホ	6 3 人 7 5 %	5 1 人 6 7 %	4 5 人 6 5 %
タブレット	3 9 人 4 6 %	2 0 人 2 6 %	3 5 人 5 1 %
P C (ノート・デスクトップ)	1 9 人 2 3 %	1 0 人 1 3 %	2 1 人 3 0 %
ゲーム機・ 音楽プレイヤー	7 4 人	7 2 人	7 1 人

◇インターネットの使い方について、家族との約束事がありますか？

	1 年	2 年	3 年
ある	4 9 人 5 6 %	3 7 人 4 6 %	3 0 人 4 1 %
特になし	3 8 人 4 4 %	4 4 人 5 4 %	4 3 人 5 9 %

◇ネットで知り合った人と実際に会ったことがありますか？

	1 年	2 年	3 年
ある	7 人 8 %	6 人 7 %	7 人 1 0 %

家庭でのルール（例）

- ・食事中にスマホは使わない。
- ・親に見せられないことは書き込まない。
- ・オンラインゲームを含めメール等で相手の悪口を書かない。
- ・課金する時は親に相談する。
- ・スマホの利用時間は〇〇時まで。
- ・困ったことがあったら親に相談する。



初詣の「祈い」

お正月の神社仏閣は、三が日を中心に初詣の人たちで賑わいます。そうした機会には、多くの人が「どうか今年も良い1年になりますように」と祈るのではないのでしょうか。

ある小学校の先生は、道徳の授業に関連して、子供たちにこんな問いかけをしたそうです。

「もし自分がその神社の神様だったら、どう思うかな」

すると、子供たちの反応は…。

「そんなにたくさんの人からお願いされても、応えられない」

…もったもた話です。これを受けて、先生は子供たちに語りかけます。

「神社やお寺では、自分のことを“お願い”するものではなくて、“感謝と誓い”をするものではないだろうか」と（参考：寺門光輝著『子どもと語り合う「道徳の時間」』モラロジー研究所刊）

年の初めにあたって、誰もが心に抱くであろう「今年も良い1年に」という希望。それは神仏に御利益を願うことで叶うものというより「そんな明るい未来が開けるように、私は努力します」と自分の心に誓うからこそ実現されていくものではないか、というわけです。

（ニューモラル令和2年1月号より）

玄関に飾られたお正月の花



オブコニカの花鉢を購入しました

緑の羽根募金の還付金で今年はオブコニカの花鉢を購入しました。

緑の羽根募金12,749円に対して、還付金が8,231円で、募金額の64%ほどが学校に還付されました。来年度の緑の羽根募金に対してもよろしく願います。

